

(2) 働き方の属性別分析

『パート・契約社員・アルバイト』の3割弱は理解度の低い層。管理職は、他の就業形態に比して理解度は高いものの、理解度が低い層も見られる

就業形態別の理解度状況を見ると、『パート・契約社員・アルバイト』の層で「理解度レベル1」の割合が高くなっている(28.7%)。『正社員(管理職)』ではもっとも「理解度レベル3」の割合は高いが(51.6%)、管理職であるにも関わらず「理解度レベル1」の層が1割弱(7.8%)みられる。

勤続年数や転職経験の有無では理解度レベルに大きな違いは見られないが、業種・職種によっては傾向に違いがみられる。「理解度レベル1」の層の割合が高いのは、業種では『生活関連サービス業、娯楽業(38.7%)』『宿泊業、飲食サービス業(29.8%)』となっている。また職種では『ウェイトナー・ウェイトレス、ホテルマン等のサービス業(33.3%)』『理・美容師、調理師などのサービス業(31.6%)』において、他の職種に比べ「理解度レベル1」の層の割合が高くなっている。

